令和６年度　浦添中学校　各教科シラバス

学　　年	１年	教科名	美術
教科担当			
教科書名	美術１　美術との出会い		
副 教 材	美術資料		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが１年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。
また、各教科の評価の観点が3観点としてシラバスに示してあります。
Ⅰ「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や 技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりし ているかについて評価を行います。
Ⅱ「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。
Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。
生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(＝学びに向かう力)」を育成することにつながります。

１　（美術）科の目標と評価について

教科の目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，機能性と美しさとの調和，美術の働きなどについて考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を培い，心豊かな生活を創造していく態度を養う。
評価の観点	（知識・技能）〇対象や事象を捉える造形的な視点について理解してる。〇意図に応じて表現方法を工夫して表している。 （思考・判断・表現）〇自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどのついて考えるととに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 （主体的に学習に取り組む態度）〇美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に撮り組もうとしている。
評価方法	①準備・片付け、授業中の取り組み・発表・態度、提出期限、定期テスト ②構想段階のアイデアスケッチ、表現する物の組み合わせ方や配置、発想の独創性 ③題材ごとに使う道具を正しく使えているか、学んだ表現方法以上の工夫があるか ④他者の作品から学び取ろうとしているか、相互鑑賞でのアドバイスや感想、定期テストの点数

２　（美術）科の学習について

授業の進め方	〇授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組みましょう。 〇自分の良さを伸ばし、上手くいかないことがあっても諦めないで最後まで取り組みましょう。 〇作品制作だけでなく、美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるように心がけましょう。 〇アイデアスケッチやワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかり考えて取り組みましょう。 〇教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、学びあいの学習やワークシート等で、自分の意見や感想を表現できるようにしましょう。
定期テスト	・事前に発表された範囲をよく見て学習し、技法や制作手順を振り返っておきましょう。 ・テスト当日の持ち物を忘れないようにしましょう。

３　年間指導計画（その①）

4･5月	単元名（題材名）	美術との出会い、沖縄の美術		指導時数	１０時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	形や色彩，模様，材料，場所などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，よさや美しさ，印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。	日本及び諸外国の文化遺産などから，よさや美しさなどを感じ取り，人々の願いや，作者の意図と表現の工夫，美術文化について考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り，人々の願いや，作者の意図と表現の工夫，美術文化について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	定期テスト	生徒観察	生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	4，5月	4，5月	
6･7月	単元名（題材名）	じっくり見ると見えてくる		指導時数	6時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	形や色彩，質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，何かに見立てたり，全体のイメージで捉えたりすることを理解している。 粘土や絵の具の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫して表している。	身近なものを見つめ感じ取った形や色彩，質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し，全体と部分との関係などを考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり，意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品 定期テスト	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	6月	6月	
8･9月	単元名（題材名）	材料に命を吹き込む		指導時数	8時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	材料の形や色彩，質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，何かに見立てたりするなど全体のイメージで捉えることを理解している。 教材の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫して表している。	材料を見つめ感じ取った形や色彩，質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し，全体と部分との関係などを考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に見立てるなどして構想を練ったり，意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑　美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	7･8･9月	7･8･9月	7･8･9月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

３　年間指導計画（その②）

10･11月	単元名（題材名）	人間っておもしろい		指導時数	8時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	顔の角度や表情，しぐさ，色彩などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，身近な人のよさや印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 材料や用具の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫して表している。	身近な人を見つめ感じ取った特徴などを基に主題を生み出し，構図を考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な人の特徴などを基に構想を練ったり，意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	10月	10月	10月	
11･12月	単元名（題材名）	文字っておもしろい		指導時数	6時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 意図に応じて工夫し，制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	文字の意味やイメージを基に，伝える相手や場面などから主題を生み出し，分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え，表現する構想を練っている。 文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく意味や美しさなどを生かして文字をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり，意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の基礎･基本の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品 定期テスト	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	11･12月	11･12月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

３　年間指導計画（その②）

1･2月	単元名（題材名）	折って，切って，巻いて		指導時数	4時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	紙の特性，形や色彩，構成などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 紙の加工方法などを身に付け，意図に応じて工夫し，制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	紙の特性やよさ，加工方法，飾る場面などから主題を生み出し，美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり，表現する構想を練っている。 紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく紙の特性やよさなどを生かしてデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり，意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などついて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	1･2月	1･2月	1･2月	
3月	単元名（題材名）	わくわく コミュニケーション		指導時数	3時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	イラストレーションや写真，文字の形や色彩，構成などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 材料の生かし方などを身に付け，意図に応じて工夫し，制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	伝えたい情報やイメージを基に，伝える相手や場面などから主題を生み出し，分かりやすさと形や色彩，文字の工夫などとの調和を考え，表現する構想を練っている。 伝えたい情報と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しくイラストレーションと文字を組み合わせるなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり，意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい情報と分かりやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	3月	3月	3月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和６年度　浦添中学校　各教科シラバス

学　　年	２年	教科名	美術
教科担当			
教科書名	美術２･３上 学びの実感と広がり、美術２･３下 学びの追求と未来		
副 教 材	美術資料		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが１年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。
また、各教科の評価の観点が3観点としてシラバスに示してあります。
Ⅰ「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や 技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりし ているかについて評価を行います。
Ⅱ「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。
Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。
生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(＝学びに向かう力)」を育成することにつながります。

１　（美術）科の目標と評価について

教科の目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて自分の表現方法を追求し，創造的に表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，機能性と洗練された美しさとの調和，美術の働きなどについて独創的・総合的に考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を深め，心豊かな生活を創造していく態度を養う。
評価の観点	（知識・技能）〇対象や事象を捉える造形的な視点について理解してる。〇意図に応じて表現方法を工夫して表している。 （思考・判断・表現）〇自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどのついて考えるととに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 （主体的に学習に取り組む態度）〇美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に撮り組もうとしている。
評価方法	①準備・片付け、授業中の取り組み・発表・態度、提出期限、定期テスト ②構想段階のアイデアスケッチ、表現する物の組み合わせ方や配置、発想の独創性 ③題材ごとに使う道具を正しく使えているか、学んだ表現方法以上の工夫があるか ④他者の作品から学び取ろうとしているか、相互鑑賞でのアドバイスや感想、定期テストの点数

２　（美術）科の学習について

授業の進め方	〇授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組みましょう。 〇自分の良さを伸ばし、上手くいかないことがあっても諦めないで最後まで取り組みましょう。 〇作品制作だけでなく、美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるように心がけましょう。 〇アイデアスケッチやワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかり考えて取り組みましょう。 〇教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、学びあいの学習やワークシート等で、自分の意見や感想を表現できるようにしましょう。
定期テスト	・事前に発表された範囲をよく見て学習し、技法や制作手順を振り返っておきましょう。 ・テスト当日の持ち物を忘れないようにしましょう。

３　年間指導計画（その①）

4月	単元名（題材名）	なんでこれが美術なの？		指導時数	2時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	物と場所，大きさ，形や色彩が感情にもたらす効果や，造形的な特徴や制作の様子などを基に，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	現代美術の美しさ，面白さを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に現代美術の面白さや考え方などに関心を持ってよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	定期テスト	生徒観察	生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	テスト時	テスト時	
5･6･7月	単元名（題材名）	構図に思いをのせて		指導時数	12時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	写す角度や配置，拡大や縮小，光や陰影，時間の静止などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に主題を生み出し，構図の効果を考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に写真表現の特性などを生かして構想を練ったり，意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品 定期テスト	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	5･6･7月	5･6･7月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

7～12月	単元名（題材名）	ひと目で伝えるための工夫・つくって使って味わう工芸		指導時数	16時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	形や色彩が感情にもたらす効果や，具体物や行為を表す形の特徴などを基に，伝達するイメージなどを捉えることを理解している。 材料の特性や質感，それらが感情にもたらす効果や，造形的な特徴や加工方法を基に，材料の持ち味を全体のイメージで捉えることを理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求して，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って創造的に表している。材料や用具などの特性を生かし，意図に応じて表現方法を創意工夫して，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って創造的に表している。	伝えたい内容やイメージなどを基に，伝える相手や場面などから主題を生み出し，形や色彩などによる伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え，表現する構想を練っている。 材料のよさや美しさを基に，使う場面や機能などから主題を生み出し，使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え，表現する構想を練っている。 伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や機能を考えてひと目で分かり，意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり，意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	7～12月	7～12月	7～12月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

３　年間指導計画（その②）

1月	単元名（題材名）	デザインで人生を豊かに		指導時数	2時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	形や色彩，材料などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，作者の意図を全体のイメージで捉えることを理解している。	使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の意図と創造的な工夫や，生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の意図と創造的な工夫や，生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	1月	1月	1月	
2･3月	単元名（題材名）	文化の出会いがもたらしたもの		指導時数	3時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	構図や色彩，線などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴を基に，日本美術の作風や印象がどのように生かされているかを捉えることを理解している。	表現の特色や美しさを感じ取り，作者の意図と創造的な工夫や美術を通した美術文化の継承と創造について考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現の特色や美しさを感じ取り，作者の意図と創造的な工夫や美術を通した美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品 定期テスト	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	2･3月	2･3月	
	単元名（題材名）			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

令和６年度　浦添中学校　各教科シラバス

学　　年	３年	教科名	美術
教科担当			
教科書名	美術２･３上 学びの実感と広がり、美術２･３下 学びの追求と未来		
副 教 材	美術資料		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが１年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。
また、各教科の評価の観点が3観点としてシラバスに示してあります。
Ⅰ「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や 技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりし ているかについて評価を行います。
Ⅱ「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。
Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。
生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(＝学びに向かう力)」を育成することにつながります。

１　（美術）科の目標と評価について

教科の目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて自分の表現方法を追求し，創造的に表すことができるようにする。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，機能性と洗練された美しさとの調和，美術の働きなどについて独創的・総合的に考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を深め，心豊かな生活を創造していく態度を養う。
評価の観点	（知識・技能）〇対象や事象を捉える造形的な視点について理解してる。〇意図に応じて表現方法を工夫して表している。 （思考・判断・表現）〇自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどのついて考えるととに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 （主体的に学習に取り組む態度）〇美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に撮り組もうとしている。
評価方法	①準備・片付け、授業中の取り組み・発表・態度、提出期限、定期テスト ②構想段階のアイデアスケッチ、表現する物の組み合わせ方や配置、発想の独創性 ③題材ごとに使う道具を正しく使えているか、学んだ表現方法以上の工夫があるか ④他者の作品から学び取ろうとしているか、相互鑑賞でのアドバイスや感想、定期テストの点数

２　（美術）科の学習について

授業の進め方	〇授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組みましょう。 〇自分の良さを伸ばし、上手くいかないことがあっても諦めないで最後まで取り組みましょう。 〇作品制作だけでなく、美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるように心がけましょう。 〇アイデアスケッチやワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかり考えて取り組みましょう。 〇教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、学びあいの学習やワークシート等で、自分の意見や感想を表現できるようにしましょう。
定期テスト	・事前に発表された範囲をよく見て学習し、技法や制作手順を振り返っておきましょう。 ・テスト当日の持ち物を忘れないようにしましょう。

３　年間指導計画（その①）

4～6月	単元名（題材名）	今を生きる私へ		指導時数	１０時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	構図や顔の角度，表情やしぐさ，背景や色彩などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴を基に，自分の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 材料の特性を生かし，意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。	自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し，構図や表情などの効果を考え，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり，構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表情の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品 定期テスト	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	4･5･6月	4･5･6月	
7～11月	単元名（題材名）	人が生きる社会と未来		指導時数	１９時間
	観点	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	形や色彩，材料，光などの性質，それらが感情にもたらす効果や，空間や機能など造形的な特徴などを基に，全体のイメージなどで捉えることを理解している。 材料や用具の特性を生かし，意図に応じて表現方法を創意工夫して，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って創造的に表している。	道としての機能，通る人の心情や安全性などから主題を生み出し，形や色彩，材料，空間などの効果や美しさなどとの調和を総合的に考え，表現の構想を練っている。 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り，安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に通る人の思いなどを考えて道をデザインする構想を練ったり，意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り，安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品 定期テスト	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	7～11月	7～11月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

３　年間指導計画（その②）

12月	単元名（題材名）	あの日を忘れない		指導時数	2時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	形や色彩などが感情にもたらす効果や，物の組み合わせや構図などを基に，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫，社会における美術の力について考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に絵に込められた作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫，社会における美術の力について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品 定期テスト	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	テスト時	12月	12月	
1～3月	単元名（題材名）	私の色　みんなの色		指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿（B規準）	形や色彩の構成，教材の質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴や染色の技法などを基に，よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 材料や用具の特性を生かし，意図に応じて自分の表現方法を追求して，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って創造的に表している。	構成や装飾を基に，使う場面や飾る場所，イメージなどから主題を生み出し，形や色彩の技法の効果から美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え，表現する構想を練っている。 身に着けたり空間を飾ったりする物の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に形や色彩の技法の効果から美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え構想を練ったり，意図に応じて自分の表現方法を追求して見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に身に着けたり空間を飾ったりする物の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
	評価方法	生徒作品	生徒作品 生徒観察	生徒作品 生徒観察	
	評価時期及び評価場面	1～3月	1～3月	1～3月	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。